

(令和6年度)

ウイルス対策ソフトライセンス賃貸借に係る質問事項回答

項番	質問該当項	該当項目	質問内容	質問回答
1	要求仕様書 3. 作業の概要	③端末機等が正常に使用できることを確認後、指定された日時と場所に対して当該端末機にインストール作業を行うこと。	現在、沖縄県庁様におかれましては、Symantec Endpoint Protectionをご利用中との認識ですが、同製品にて応じた場合、当該端末へのインストール作業は不要との認識でよろしいでしょうか。	はい、Symantec Endpoint Protectionで応じられた場合は、インストール作業は不要です。
2	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑪ランサムウェア攻撃を検知し、ロールバック機能を有すること。	ロールバック機能については業務影響への兼ね合いから搭載しておらず、PlayBookなど半自動実行機能としてリリースしている場合が多く、他社製品を排除しすぎる問題がございます。必要要件から削除いただけないでしょうか。	ランサムウェアへの対処は即時性が求められることから、ロールバック機能は必要と判断します。そのため、要件に変更はありません。
3	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑫ランサムウェアにより暗号化されたファイルを復旧させる際にボリュームシャドウコピーを利用せず復元できること。	セキュリティ維持のためにVSSを利用できない技術的なご理由があれば回答いただけないでしょうか。 復元にVSSを使わない場合、要件を満たす製品は少なく他製品を排除しすぎる懸念があるため、別製品との連携提案もしくは以下への変更をいただけないでしょうか。 「ランサムウェアによるシャドウボリュームの削除を防ぐ機能を有すること。」	本要件については、近年のマルウェア被害においてVSS（ボリュームシャドウコピーサービス）が削除される事例もあることから、VSSに依存するとファイルの復元が不可能となる場合が発生することを危惧しております。しかし、ご質問の内容を検討し、本要件は以下のとおり変更します。 「⑫ランサムウェアにより暗号化されたファイルを復旧させる際にボリュームシャドウコピーを利用せず復元できること。その際に、別製品と連携することを可とする。」
4	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑬マスターブートレコードを暗号化するランサムウェア攻撃を検知・ブロックできる機能を有すること。	MBRは現在レガシー機能としてはほとんど使われていない為、セキュリティレベルを維持するために存在する理由がございます。 他社製品を排除しすぎるため削除いただけないでしょうか。	本要件は不要とします。
5	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑭Safeモードで起動しても保護機能を保持し続けること。	Safeモードの特性上、Windows起動に必要な最低限度のドライバやサービスのみ読み込まれる為、通常のセキュリティソフトでは保護できません。 そのため他社製品を排除しすぎる問題があるため、必須条件から削除いただけないでしょうか。	本要件は不要とします。
6	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑮URLフィルタリング機能を有すること。	URLフィルタリング/カテゴリフィルタリングといった機能についてはGW（SWG等）の範疇であり、エンドポイントのウイルス対策ソフトとしては他社製品を排除しすぎる問題がございます。 別製品との連携もしくは必須要件から削除いただけないでしょうか。	本要件は不要とします。
7	要求仕様書 6. ウイルス対策ソフトの要件	⑯情報漏えい対策（DLP）機能を有すること。	DLP機能はエンドポイントのウイルス対策導入の範疇を超えている機能の為、他社製品を排除しすぎる問題がございます。 別製品との連携もしくは文言の削除いただけないでしょうか。	本要件は不要とします。